



理数専門科目「課題研究」
ガイダンス

2012.4.16(月)
視聴覚室(地学教室)

「課題研究」の目標

- ・ 科学に関する**課題を設定**し、観察・実験・調査・議論などを通して研究を行い、科学的に**探究する能力と態度**を育てるとともに、**創造性**の基礎を培う。

課題研究(1)

◎ 1年間の継続研究、第2学年で実施
数学、理科分野の探究活動

生徒主体に、担当教員のアドバイスを得ながら

◎ 調べ学習、文献調査、実験の計画・実施
論文・ポスター作成、プレゼンテーション

◎ SSH事業の支援対象

実験材料・試薬、機器、図書、講師謝金、旅費

課題研究(2)

◎ 校内での発表会

◆ 課題研究中間発表会 11月1日(木)

SSH運営指導委員、サイエンスアドバイザー、総合理学科3年生、他校の教員

◆ SSH課題研究発表会 2月19日(火)予定

SSH運営指導委員、サイエンスアドバイザー、総合理学科1年生、他校の教員

校外での発表会 (2~3班)

◆ サイエンスフェアin兵庫 (1月20日(日))

◎ 第3学年で校外での発表活動

◆ SSH生徒研究発表会(パシフィコ横浜)

8月上旬 課題研究発表会 評価最高得点グループ

◆ すべての班が大学・学会等で発表をする

課題研究(3)

◎ 作成物

論文、ポスター、プレゼンスライド(pptなど)

◎ SSH(JST)Webページの

課題研究データベースへの登録

◎ 英文ポスター

インド生徒との交流

全国に成果の公表

神戸高校のSSH事業

国際社会で
活躍する
理数系人材
の育成

交流する力

質問する力

コアになる力

問題を発見する力

未知の問題に挑戦する力

知識を統合して活用する力

問題を解決する力

議論する力

発表する力

ペリフェラルとしての力

グローバル・スタンダード(8つの力)

8つの力が伸びれば...

- 研究・開発を自力で推進できる
- グループで協力し合って、研究・開発ができる

国際舞台で科学技術
イノベーションを達成
するリーダーとなる

「課題研究」 研究課題の決め方①

■ 研究課題の紹介（本日このあと）

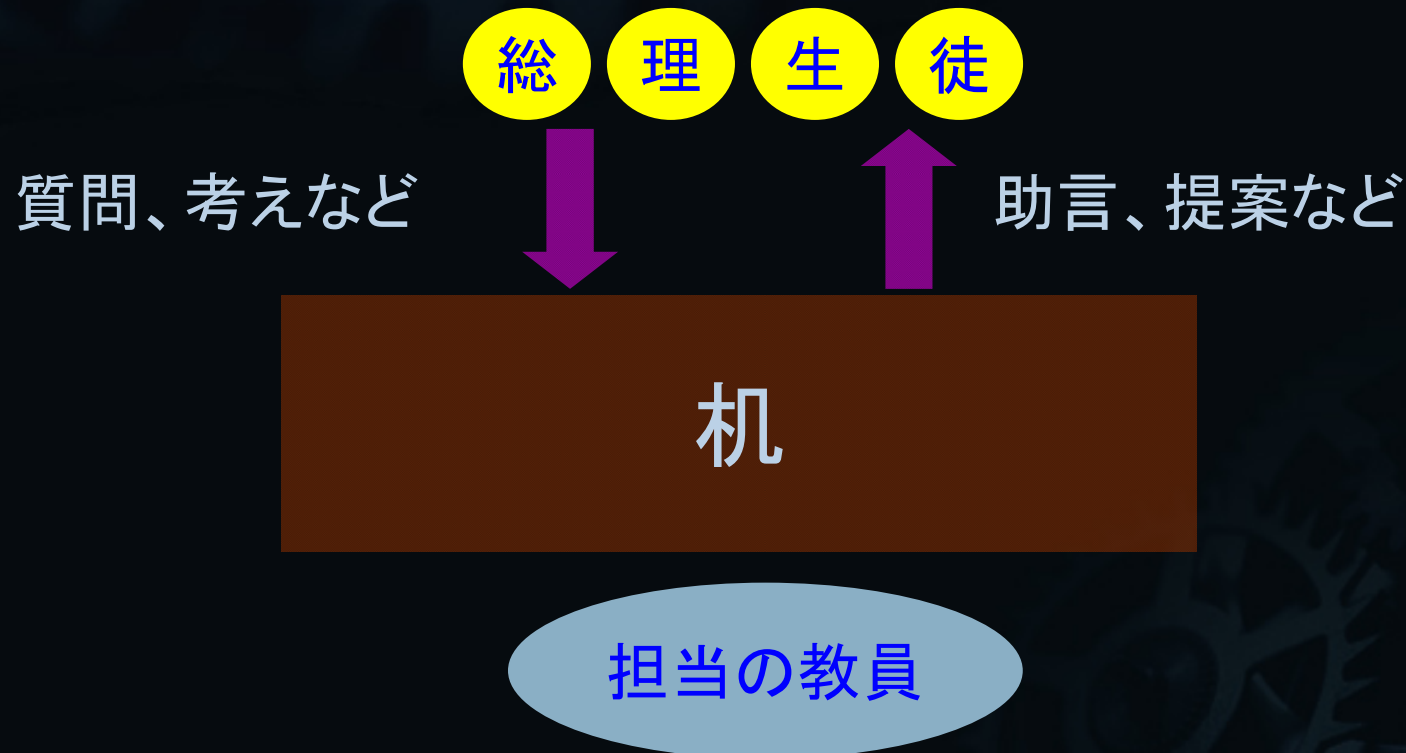
8人の担当者からの説明

数学・物理・化学・生物

各2名の教員

「課題研究」 研究課題の決め方②

■8人の担当者との ブース形式の懇談会(本日このあと)



「課題研究」 研究課題の決め方③

テーマ希望調査票を提出



最終提出期限 明日 4月17日(火)



人数調整の結果 4月20日(金)発表



グループ毎に活動開始 4月23日(月)

地学教室

教卓

でのブース配置

